

## 【ホームページへの掲載用の研究概要】

### 研究課題名 T-スポット検査における検体保存条件の研究

本研究は、結核診断のための補助検査として使用されている T-スポットで使用される血液検体について、検査開始までの保存温度の違いや採血後 8 時間を経過した検体について末梢血単核球分離前に必要とされる T-Cell Xtend 試薬による処理について、条件の違いが検査結果に及ぼす影響について検証しようとするものである。さらに、この検証結果を血液採取機関や臨床サイドへの情報提供につなげることで、血液検体の保存等に関する正しい知識の普及を図ることができるようになる。

この研究は、当財団と複十字病院及び免疫診断研究所の共同研究であり、ちば県民保健予防財団疫学・臨床倫理審査委員会および複十字病院の倫理審査委員会の承認を得て、2015 年 2 月から 2015 年 5 月までの期間に当財団職員等を対象に実施する。

なお、本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりとする。

- 1 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表することがあるが、その際、個人が特定できる情報を公表することはない。
- 2 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はない。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合や問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

#### 研究責任者

検査部 一般検査課 副主査 露崎みづ枝  
電話 043-246-8658 Fax 043-246-8697  
e-mail mi-tsuyuzaki@kenko-chiba.or.jp